

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

NPO法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：パレット保育園 牛久保西	種別：認可保育所
代表者氏名：吉成 雅美	定員（利用人数）： 60（71）名
所在地：〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-12-22	
TEL：045-910-0149	ホームページ：https://p-hoiku.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：	
職員数	常勤職員：14名 非常勤職員：16名
専門職員	園長：1名 保育士：26名
	栄養士：1名 調理員：2名
施設・設備 の概要	（居室数） 7室
	（設備等） 保育室・乳児室・調理室・事務室・ 更衣室・倉庫・エレベーターなど

③理念・基本方針

ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。

ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。

ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

パレット保育園・牛久保西は、最寄り駅のセンター北駅から、17分程歩いた住宅地の中にあります。

園の周りには牛久保西公園の緑道があり、お天気の良い日には園外へ散歩に出かけ季節の移り変わりを感じたり、動植物に触れたりしながら感性豊かに過ごしています。広い園庭では、元気で健やかな身体づくりをしています。能力開発プログラムでは、子どもたちの能力を最大限に伸ばすプログラムとして「コトバの森・パレット学習タイム・運動プログラム・小学校準備プログラム」などに取り組んでいます。

また、安全安心システムとして保育園向けアプリを導入し、家庭との連絡ツールやICカードで入退室ができます。毎月避難訓練をおこない、職員は救命救急研修を受け、マニュアルを完備し、安全管理を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年 5月 20日（契約日） ～ 2022年 4月 11日（評価結果確定日）
--------	--

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもたちは保育士に見守られ基本的な生活習慣を身につけています

保育士は一人ひとりの発達に合わせて基本的な生活習慣が身につくように援助しています。0歳児の子どもたちは手を洗うに行く時に「お袖ギュ〜って上げてね」と声を掛けられ、保育士の「ゴシゴシ」で手を擦り合わせ「パッパッ」と水を切り、手を拭きます。着替えの時も「よいしょ」の声に合わせてズボンを引っ張り上げています。一連の動作はおこないやすい環境の中で、毎日同じように繰り返し、そばで見守られ、褒められて、子どもたちは基本的な生活習慣を身につけています。どの保育士も同じような声掛け、手順でされるので、子どもたちは混乱することがなく、年齢が上がるに連れ、生活の流れも自然と身につけていきます。幼児になると外遊びから帰ってきた時、食事の前後など何をするのかがわかり自主的に行動しています。また、職員は子どもに対してだけでなく、職員同士も散歩で出会う地域の人にも笑顔で挨拶や返事をしています。その姿を見て子どもたちは誰に対しても顔をしっかりと見て「こんにちは！」や「ありがとうございます」「ごめんね」など気持ちのよい応答ができています。

◆職員の人材育成と保育の質の向上に向けて力を入れています

法人は年間研修計画を作成しています。また個人別に年間研修計画を作成して、外部研修も含め研修に積極的に参加できるようにしています。研修を受講した職員は報告書を提出し、必要に応じて伝達研修を会議の時間におこなっています。法人は実施した研修の評価、分析をおこない、次年度の研修計画に反映して人材育成をおこなっています。施設長は園内研修で「動画使用について」「室内遊びについて」をテーマに職員全体でより良い保育について考える時間を作り、特に1歳児クラスでは具体的な実践につなげています。日々の振り返りの確認や日常の保育の様子から、施設長が課題と気づいた時にはクラスだけでなく、園全体で話し合い、取り組む環境づくりに力を入れています。今回の第三者評価についても職員全体で共有する時間を設け、保育の質の向上に努めています。

◇改善を求められる点

◆保育所の専門性を活かした子育て支援や地域との協働が期待されます

保育士や子どもたちは近隣や散歩で出会った人たちとこやかに挨拶を交わし、地域に溶け込んでいます。園のある地域は町内会などの活動が盛んでコロナ禍以前は町内会行事の参加や園の行事に近隣住民を招くなど交流がありましたが、現在は中断しています。

まず園として地域とどのように関わっていくかを明文化することが望まれます。地域に開かれた園として、園の取組の発信や園庭開放、電話での育児相談、栄養士などの専門性を活かしたオンライン講習会など子育て支援、園児が小学校や地域の人々との交流を持つ機会や防災訓練など、今後は町内会や近隣施設などと連携を取りコロナ禍でも可能な積極的な協働が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審して多くの気づきがありました。この法人で定められている事の一つひとつを意義のあるものとして再確認できました。

また、大切なお子様をお預かりしている立場として、保育のあり方や環境面、衛生面、サービス面での質を客観的に知る事ができました。自園はどのような事が充足していて、どのような事に課題があるのかを具体的に知る事で今後取り組むべき事が明確になりま

した。

担当の方や評価員の方は、保育現場を深く理解しておられたので安心して評価を受ける事ができました。頂いた言葉の一つ一つが励みとなりました。

心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり